

## 第3学年3組 学級活動指導案

1. 日時・場所 令和元年6月5日(水) 5校時 (13:35~14:20) 3年3組教室
2. 議題「えがお<sup>さんさん</sup>33集会をしよう」

学級目標 ダイヤモンド スター アイス～一人ひとりがかがやくクラス～

### 3. 議題について

#### (1) 児童の実態(男子16名 女子16名 計32名)

3年3組の児童は、素直で仲間に優しく接することができる。友達や教師の話をしっかり聴こうとする態度が身に付いている児童も多い。与えられた自分の役割や仕事に対して責任感をもって取り組み、仲間と協力してやり遂げようとする姿勢がよく見られる。係活動では、自分たちで活動を工夫したり、ホワイトボードなどに活動の様子やお知らせを書いたり、クラスをよりよくしようとする気持ちをもって意欲的に活動している。

一方で、本学級の児童の課題としては、自分の考えを進んで伝えることに対して苦手意識が高いことが挙げられる。相手や仲間に対して関心があり、思いやりをもって接するが、自分の思いを表現したり、相手に気持ちを伝えたりすることに消極的なあまり、トラブルになる場面も見受けられた。友達との間で問題が起こると、多くの児童が担任を介して解決を望む傾向がある。本質的には仲間を大切にしようとする意識が高い子どもたちなので、自分らしさを出し、自分たちでクラスをつくろうとする姿へ成長できるよう、日々指導を続けていきたいと思っている。

学級目標を決める際、「みんなで『一致団結』したい」「笑顔がたくさんの中よしクラスがいい」「すばやく行動して、落ち着いて学習したい」など様々な意見が子どもたちから出された。一人ひとりのクラスへの思いを全て盛り込む形で、「ダイヤモンド スター アイス」(◎一致団結◎一生懸命◎優しい心◎何でも◎チャレンジ◎どんどん前進◎スマイル◎たくさん◎明るい◎あいさつ◎素敵な3組)という目標を子どもたちだけで決めることができた。32人全員の思いを大切に、仲間と共に新しいクラスをつくっていかうとする子どもたちの強い決意が込められている。

学級会は今回が3回目である。1回目の「係を決めよう」では、様々な意見が出され、どんな係があれば全員が過ごしやすいクラスになるのか話し合い、一人ひとりが意欲をもって係活動を決めることができた。2回目の「学級目標を決めよう」では、話し合いに関わる1年生からの積み重ねから座席の移動や準備、司会グループの進め方など子どもたちが進んで学級会に取り組もうとする姿勢が見られた。途中で話し合いが滞る場面もあったが、学級目標を決めたいという子どもたちの強い思いから意見をまとめ、自分たちで目標を決めたという達成感をもつことができた。3年生になって初めて自分の意見を言えたという児童も多く、少しずつ自分の思いを表現することに自信をもち始めている。本活動では、柱1の内容である「どのように楽しむか(工夫)」について話し合う。新学級で行う初めての集会ということで、関心が高い子どもたちの思いをより多く反映し、めあてを意識した話し合いになるよう支援していく。また、自分たちで決めたことを準備していく中で、クラスとしての絆がより深まっていくことを期待したい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、「えがお33集会をしよう」である。学級目標『ダイヤモンド スター アイス』を子どもたちで決め、クラスの仲間に対する関心が高まっている中で、「みんなが笑顔になる楽しい集会がしたい」「今まであまり関わりがなかった子とも仲よくなりたい」「自分たちで決めたことを色々やってみたい」という思いが膨らんでいる。新学年が始まって初めて行う集会ということで、子どもたちの話合いに対する意識の高さ、誰もが興味をもって自分の考えをもつことができる利点を生かすことができると考える。自分らしさを表現すること、相手に気持ちを伝えること、そして仲間の存在の大切さを実感をもって味わわせたい。

今回の学級会では、柱を1本にし「どのように楽しむか(工夫)」を話し合う。「何をするか(内容)」を事前に話合いで決めておくことにより、決められた内容について、いかに楽しむ工夫ができるかという焦点を絞って考えを深めることができる。また、クラスの全員が笑顔になる＝一人ひとりが楽しいと感じるというめあてを明確に示すことで、工夫を考える上での条件を揃えることができ、めあてを意識した話合いが進められることを期待したい。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の生活上の問題に関心をもち、他の児童と協力して意欲的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しい学級生活をつくるために話合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合っ て実践している。	みんなで学級生活をつくることの大切さや学級集団としての意見をまとめる話合い活動の計画的な進め方などについて理解している。

5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

**互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動**

～仲間と共に歩む姿をめざして～

中学年のめざす子どもの姿

- 自分の思いや考えを進んで伝える子【自分に自信をもてる姿】
- 互いのよさを認め合いながら活動する子【仲間と共に歩もうとする姿】
- 自分たちの思いを生かしながら学級生活をよりよくしようとする子【自分たちの生活は自分たちでつくっていかうとする姿】

## 【自分の思いや考えを進んで伝える子】（自分）

### ○学級会ノートの活用（事前・学級会）

課題に対する自分の考えを一人一人がしっかりもって学級会に臨めるように議題、提案理由、話し合いのめあてを伝え、あらかじめ考えを記入しておく。現段階での、自分やクラスの課題に気付けるように、児童の考えやふり返しには毎回励ましのコメントを入れる。

### ○話し合い活動の進め方台本の活用（事前・学級会）

誰もが自信をもって話し合い活動への準備ができるように、話し合いの手順や言葉の例が書かれている台本を用意する。また、司会グループが自信をもって話し合いを進行できるように、準備の際に使用する。

### ○話し合いの可視化（学級会）

話し合いの流れがつかみやすいように、出し合う・くらべる・まとめるのどこを話し合っているのかがよく分かる提示をする。また、出された意見は色別の短冊（賛成＝ピンク、反対＝青、質問＝黄色）に書き、顔写真カードを使用する。

### ○実践活動（事後）

集いのねらいや一人一人のめあてを意識しながら活動することを通して、自分たちで決めたことを自分たちの力でやり遂げられるように役割分担をはっきりする。

## 【互いのよさを認め合いながら活動する子】（仲間）

### ○学級会ノートの活用（事前）

自分たちの学級会がどうだったか、課題やうまくいったところはどこかをいつもふり返しながらいつにつなげられるように、学級会ノートに話し合い活動を終えての自己評価、今日のダイヤさん、ふり返しを書く。事前の支援同様に、担任からの励ましのコメントを入れる。

### ○顔写真カードの活用（学級会）

一人一人が学級会に参加している実感がもてるように、顔写真カードを活用し、話し合いの可視化につなげる。

### ○「今日のダイヤさん」の設定（学級会）

互いのよさを見つけ、友達同士が高め合える大切な機会として「今日のダイヤさん」を行う。認められた子も、認められた子もほめ、その内容についても担任が価値付けしていく。

## 【自分たちの思いを生かしながら学級生活をよりよくしようとする子】（生活）

### ○司会グループへの指導（事前）

司会や記録の内容に期待感を持ち、学級会を自分たちでつくっていく意識をもてるように、準備の時間を設定する。準備時間を確保することによって、自信をもって会に参加することができると思う。

### ○担任の助言（事前・学級会）

提案者やめあてを意識した話し合いができるように、児童の実態をよくとらえ、適切なタイミングで助言をする。

### ○ふり返し活動（事後・常時）

学級会だけでなく、その後の実践や日頃の様々な活動でも一人一人が輝いてほしいと願う。個々の思いを共有して、よかった点や課題に気付けるように、様々な活動でふり返りの場を設定する。

## 6. 活動の実際

### (1) 事前の活動

活動の場	活動内容	支援(○)と評価(☆)
5月下旬	・議題ボックスに「学級目標が決まったので、クラス全員が仲よくなるような集会所望したい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな集会所望したいのか考えて意見を入れるように促しておく。 ☆学級の充実と向上に関心をもち、次の学級会で話し合いたいことについて主体的に考え、実践へ向けて行動しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
5月27日(月) 中休み	・議題ボックスから議題を集め、話し合いの議題を選ぶ。	○提案者の思いを取り入れ、今回の議題が「クラス全員が笑顔になって楽しめるもの」であることを確認する。 ☆学級会へ向け、司会グループを中心に学級目標に近づけるような議題を選定するように助言する。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
5月28日(火) 中休み	・司会グループと提案者で柱と話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○学級会の日時を伝える。 ○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを考えるように促す。 ○それぞれの役割を確認し、話し合いの流れをイメージできるように準備する。 ☆話し合いに向けて、進んで準備に取り組もうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度) ☆教師とともに話し合いの進め方や話し合いのめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践) ☆話し合い活動の準備や進め方を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)
5月28日(火) 帰りの会	・学級会で話し合う議題とめあて、提案者の思いを学級全体に伝える。	○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。 ☆課題に対して関心をもっている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
5月29日(水) 朝の会	・「えがお33集会」で何をするか(遊び)の自分の考えを学級会ノートに記入する。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるように助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
5月31日(金) 朝の会	・「えがお33集会」で何をするか(遊び)の学級会を行う。	○出された意見の中でどれがめあてに沿っている遊びなのかを考えられるようにする。 ○話し合いの見通しを自分なりにもてるようにする。 ☆自分の考えを進んで伝えようとし、また友達の考えと自分の考えを比べようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
6月 3日(月) 朝の会	・「遊びをどのように工夫するか」の自分の考えを学級会ノートに記入する。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを書けるように助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを記入している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
6月 4日(火) 朝の会	・柱2について、「出し合う」を行う。	○一人一人が話し合いのめあてを意識した自分の考えを伝えられるように助言する。 ☆提案理由やめあてに合った自分の考えを伝えようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

①ねらい

「えがお33集会」で、「3年3組全員が笑顔になれる」工夫を話し合い、決める。

②活動計画

児童の活動	支援(○)と評価(☆)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題の確認 「えがお33集会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認 「集会を開いて、全員が仲よくなれば、学級目標の達成に向かって一人一人が協力して取り組めると思い、提案しました。」</p> <p>5. めあての確認 (内容) 3年3組全員が笑顔になれる集会をしよう (技能) 友だちの考えを大切に話し合いをしよう</p> <p>6. 決まっていることの確認 ・日時・場所：6月14日(金)5校時 ・遊びは「たからさがし」 ・準備の期間：6月6日～13日</p> <p>7. 話し合い 「みんながえがおになる」工夫を考えよう ・くらべる ・まとめる</p> <p>8. 決まったことの確認</p> <p>9. 今日のダイヤさん</p> <p>10. ふり返り</p> <p>11. 先生の話</p> <p>12. 終わりの言葉</p>	<p>○互いの意見をよく聴いたり相談したりしやすい席にする。また、司会グループの配置を工夫する。</p> <p>○司会は進行台本を見ながら進めるようにするが、進め方でつまずいた時には、すぐに近くで助言する。</p> <p>○決まっていることはあらかじめホワイトボードに書いて児童が見えるところに掲示しておく。</p> <p>○「出し合う」を事前に行っておく。</p> <p>○提案者に対し、提案理由にしっかり思いが乗るように、事前に確認する。</p> <p>○話し合いが円滑に進むように、事前に学級会ノートに書かれた工夫をあらかじめ短冊に書いておく。また、「たからの工夫」と「さがす時の工夫」が分かるようにしておく。</p> <p>○できるだけ自分たちで決定できるように見守るが、話し合いが行き詰まったり、めあてからそれたりした時には適切な助言をする。</p> <p>○本時のふり返りや今後の活動に生かせるよう、友達の意見をよく聞こうとしたり、自分の思いを伝えようとしたりする姿を見取る。</p> <p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を果たしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆クラス全員が仲よくなる、よりよい工夫を考え、進んで話し合っている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○今日の話合いの良かったところを中心に考えられるようにする。</p> <p>○意欲をもって実践に向かえるように、司会グループのがんばっていた点、めあてや友達、学級全体を意識した意見や態度などをほめる。</p>

③本時の視点

「えがお33集会をしよう」の工夫をめあてにそって考えられていたか。

④板書計画

## 第二回 学級会

**議題** えがお33集会をしよう

**ていあん理由** 「クラスみんながえがおでながよくなれる集会をひらけば、学級もくひよようにむかって協力できるよつになるから。」

**めあて** (内容) クラス全員がえがおになれる集会を考えよう  
(技能) 友達の考えを大切にして話し合いをしよう

**話し合うこと** みんながえがおで楽しめる集会の工夫を考えよう

**『だから』の工夫**

- ・ダイヤモンドの形。
- ・キラキラ光るもの。
- ・いくつか組み合わせると一つのたからになる。
- ・メッセージを書く。
- ・ヒントのたからを作る。

**『さがす』工夫**

- ・音楽をかける。
- ・人数(ペア、はん、号車、5人組など)
- ・あん号を作る。
- ・時間をはかる。
- ・ヒントをもらええる。

**決まったこと**

- 六月十四日(金)
- 五時間目

**話し合うこと**

まとめる ← くらべる ← 出し合う

**今日のダイヤさん**

**ふり返り**

**先生から**

**終わりの言葉**

**決まってるよ**

○六月十四日(金)

五時間目

○場所: 教室

○遊びは「だから探し」

○準備の期間

六月六日～十三日

○めあて

○話し合い

○振り返り

○おまじない

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
6月6日(木) 朝の会	役割分担を決める。	○これまでの経験を生かし、えがお33集会を開くために必要な役割を考えるよう助言し、全員で協力して行うように声をかける。
6月6日(木) ～13日(木) 朝・中休み	役割ごとに準備をする。	○「みんなが笑顔になる工夫」を意識して準備を工夫できるように助言したり途中経過を確認したりする。 ○協力して準備が進められるように声をかける。 ☆集会に向けて決まった役割の準備を協力して進めている。(集団の一員としての思考・判断・実践)
6月14日(金) 5校時	集会を行う。	○集会のめあてを掲示し、意識できるようにする。 ○安全に楽しく取り組めるように見守る。必要に応じて助言する。 ☆自分の役割や学級としてのよりよい方法などについて考え、判断し、協力し合って実践している。(集団の一員としての思考・判断・実践)
6月14日(金) 帰りの会	実践後のふり返りをする。	○めあてに沿った実践ができたかということ意識してふり返りカードに感想を書く。 ☆活動に対する、自分や学級全体としての取組をふり返り、集会の意義を理解している。(集団活動や生活についての知識・理解)